

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	竹田 宜人 (北海道大学大学院工学研究院)
② 立候補の理由と 抱負 (400 字程度)	第6期はリスクマネージャ担当理事として、リスクマネージャ制度の再構築についてリスクマネージャ委員会及びリスクマネージャの皆様と検討を進めてきました。方向性として、リスク学辞典を教材としたセミナー等の開催により、リスク学に係る知見の社会への発信と教育活動を進め、そのニーズを把握しつつ、具体的な見直しに繋げていくこととなりました。次期においては、その実現を図り、リスクマネージャ制度を社会に向けた学会からの情報発信の取り組みとして発展させ、学会のプレゼンスを高めたいと思います。また、リスク学の実学としての側面から、社会のニーズとしての企業や市民活動と学会との連携も強化していきたいと考えています。また、専門でもある、リスクコミュニケーションの研究活動の進展のため、大会やタスクグループにおける議論がより活発化するような活動をしていきたいと考えています。よろしくお願ひいたします。
③ 本学会における 活動歴	第5期から理事を拝命させて頂いており、33、34 大会実行委員会委員を務めさせて頂きました。
④ 研究歴・職歴等 (100 字以内)	化学物質のリスク評価、リスクコミュニケーションを基本に工場等の施設立地や土壌汚染に係る地域対話等を実践面から研究を進めています。製品評価技術基盤機構、横浜国立大学を経て、2020 年度から北海道大学に所属しています。

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者 名	竹田 宜人
② 推薦者の 姓名と所属	村山 武彦 (東京工業大学環境・社会理工学院)
③ 推薦理由 (400 字程度)	竹田氏はリスクマネージャ担当理事として、リスクマネージャネットワークをはじめとする関係者と丁寧に調整を図りながらリスクマネージャ制度の再構築について検討を進め、リスクマネージャ制度の新たな展開の方向性を取りまとめたところです。次期の理事会においては、これまでの検討をベースに社会のニーズを踏まえた実現と発展が期待できます。 また、リスクコミュニケーションに関する実践面からの研究活動も精力的に継続しており、それらの成果と経験を踏まえた学会活動への貢献も期待できることから、本学会理事候補者として推薦するものです。